

第2学年体育科学習指導案

日時：令和6年11月12日(火)第5校時 場所：体育館

授業者：

1. 単元名「表現リズム遊び」

2. 指導観

(1) 単元について

「表現リズム遊び」は、身近な題材の特徴を捉えてそのものになりきって全身の動きで表現するとともに、友達と様々な動きを見つけて踊ったり、みんなで調子を合わせて踊ったりする楽しさに触れることのできる運動遊びでもある。低学年では、表現リズム遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、表現遊びとリズム遊びの両方の遊びを豊かに体験する中で、即興的な身体表現能力やリズムに乗って踊る能力、コミュニケーション能力などを培えるようにし、中学年の表現運動の学習につなげていくことが求められる。

(2) 児童の実態について

今までの単元で、話し合う場面を多く設定してきた。そこで、自分の意見を話したり、相手の話を聞いたりすることはできる児童は多くいる。しかし、相手の話の意図を汲み取り、自分の考えと比較できる児童は少ない。そこで、この単元を通して表現する楽しさを味わいつつ、仲間との伝え合いを通して、考えを深め、学び続けられるように指導援助を行いたい。

3. 研究内容に関わって

【研究内容Ⅱ(2)】

本時の課題を「1年生が楽しめるような遊園地を作るためにグループで色々な乗り物になりきって踊ろう。」にすることで、次の授業で、みんなで遊園地を作るという見通しと、仲間と共に作り上げる必要があるという意識を持たせ、意欲的に関わり合うことができるようにする。

4. 単元指導計画 (裏面)

5. 本時のねらい

遊園地の色々な乗り物の様子を具体的な動きでいくつか捉え、跳ぶ、回る、捻じる、這う、素早く走るなど、動きに変化を付けて、踊ることができる。

6. 本時の展開

	学習活動	指導上の手立て・留意点・支援等
導入	<ol style="list-style-type: none"> 1 場の準備を行う。 2 本時の動きにつながった準備運動を行う。 「ドレミのダンス」 3 学習内容を知り、見通しをもつ。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 課題 1年生が楽しめるような遊園地を作るためにグループで色々な乗り物になりきるための動きをくふうしよう。 </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ・窓の開閉を確実にし、体育館の室温を確認しておく。また、児童の服装などの確認も行い、安全面における配慮を行う。 ・前時は個人で乗り物を表現していたが、本時は、グループで行うことを伝え、話し合っで決めるように伝える。
展開	<ol style="list-style-type: none"> 4 グループで遊園地の色々な乗り物の動きを考え、踊る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ジェットコースターの動きを表すため、走りながらしゃがんだり伸び上がりたりしよう。 ・コーヒーカップは、手をつないで、回ろう。 5 各グループの動きを交流する。(中間交流) <ul style="list-style-type: none"> ・ジェットコースターは、スピードを速くしたり遅くしたりするともっと感じがでるよ。 ・曲がるときは、体を倒したり、ひねったりすると思う。 ・空中ブランコは、時々ジャンプを入れると思う。 6 他の遊園地の乗り物の動きも考え、工夫して踊る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・跳ぶ、回る、捻じる、這う、素早く走るなど、動きに変化があることを伝える。 ・話し合いを進めるために、「〇〇との動きが同じ」「本物になり切っている」ことなど評価のポイントを伝え、交流がしやすいように支援する。 ・ICT:各グループに周り、タブレットで撮影し、自分たちの動きを見せながら、助言を行う。(担任) ・それぞれのグループのイメージする動きに近づけるよう助言をする。
終末	<ol style="list-style-type: none"> 7 本時のまとめと、次回の内容について見通しを持たせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ジャンプをしたり回ることをしたりしたら、乗り物の感じがでた。 ・もっと動きがスムーズになるよう工夫して、発表したい。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 評価規準 遊園地の色々な乗り物の様子を具体的な動きでいくつか捉え、跳ぶ、回る、捻じる、這う、素早く走るなど、動きに変化を付けて、踊ることができる。 【思考・判断・表現】 </div>

4. 単元指導計画

「表現リズム遊び」(全6時間)

単元目標

リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と一緒に踊ったり、好きな遊園地の乗り物になり切って、全身で楽しく踊る。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
①表現リズム遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、題材に出てくるものになりきったり、リズムに乗ったりして踊ること。 ②表現遊びでは、身近な題材の特徴を捉え、全身で踊る。 ③リズム遊びでは、軽快なリズムに乗って踊ること。	①身近な題材の特徴を捉えて踊り、軽快なリズムに乗って踊る。 ②簡単な踊り方を工夫する ③考えたことを友達に伝え合い、交流する。	①表現リズム遊びに進んで取り組むことができる。 ②誰とでも仲よく踊ることができる。 ③場の安全に気を付けたりできる。

指導と評価の計画

時	ねらい・主な学習活動	観 点 の 重 点	記 録 の 有 無	備 考
1	リズム遊びの行い方が分かる。	知	無	
2	表現リズム遊びの動きが分かる。 ・「ドレミのダンス」を踊り、跳ぶ、回る、捻じる、這う、素早く走るなどの動きを身に付ける。	表 主	無	<ドレミのダンス> ドはドーナツ(捻じる動き) レはレモン(転がる動き) ミはミミズ(這う動き) ファはファイアー(体を揺らす動き) ソは青い空(飛ぶ動き) ラはランニング(素早く走る) シは幸せ(回る動き)
3	グループで楽しくリズム遊びを行う。 ・グループで相談し合って、即興的に踊る。	表 主	無	第1時～第5時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。 [確認する学習状況]
4	表現遊びの行い方が分かる。 ・個人で、色々な乗り物になり切って、動きをくふうして踊ろう。	知	無	
⑤	グループで工夫して表現遊びを行う。 ・1年生が楽しめるような遊園地を作るためにグループで色々な乗り物になりきるための動きをくふうする。(本時)	表 主	無	
6	誰とでも仲よく踊ることができる。 2年1組夢の遊園地を開催し、グループで乗り物の発表会を行う。	表	有	